

# Cisco Aironet 機器のパスワード回復手順

Document ID: 9215

Updated: 2015 年 10 月 02 日



[PDF のダウンロード](#)

[印刷](#)

[フィードバック](#)

## 関連製品

- [Cisco Aironet 1130 AG シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1300 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1400 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 350 ワークグループ ブリッジ](#)
- [Cisco Aironet 350 ワイヤレス ブリッジ](#)
- [Cisco Aironet 1100 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 340 シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1230 AG シリーズ](#)
- [Cisco Aironet 1200 シリーズ](#)
- [+ 詳細情報](#)

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[アクセス ポイント](#)

[OS を判別して下さい](#)

[AP に接続して下さい](#)

[リセットして下さい AP — VxWorks バージョン 11.07 より早い](#)

[リセットして下さい AP — VxWorks バージョン 11.07 または それ 以降](#)

[リセットして下さい AP — Cisco IOS ソフトウェア](#)

[リセットして下さい AP — Cisco IOS ソフトウェアを実行する AP 350](#)

[ベースステーション](#)

[Reset ボタンとのデフォルトを設定して下さい](#)

[クライアント アダプタ](#)

[SSID](#)

[デフォルトを設定して下さい](#)

[CEM パスワード](#)

[WEPキー](#)

[Aironet 1410 シリーズブリッジ](#)

[Aironet 1310 シリーズブリッジ](#)

[Aironet 350 シリーズブリッジ](#)

[ソフトウェアバージョン 11.xx に関してはか以降](#)

[Aironet 340 シリーズブリッジ](#)

[ソフトウェアバージョン 8.65 か以降に関しては  
8.65 より早いソフトウェアバージョンに関しては  
ワークグループブリッジ](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## [はじめに](#)

この資料にパスワードを回復か、またはさまざまな Cisco Aironet Wireless LAN ( WLAN ) 機器のデフォルト設定を復元する方法を記述されています。

注: 他の Cisco プラットフォームとは違って、Aironet ハードウェアおよびソフトウェアはパスワードの回復を可能にしません。再構成することができるデフォルトステートに代りに機器を戻して下さい。

注: 新しいモデル Access Point ( AP ) を ( 1260、3500、1600、2600、3600、1700、2700、3700、1830、または 1850 シリーズのような ) 使用したら、[自律 Aironet アクセスポイントについては Cisco IOS コンフィギュレーションガイド](#)を参照して下さい。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [アクセス ポイント](#)

Aironet AP で現在使用中である 2 つのオペレーティング システム ( OS ) があります。ユニットが動作する OS はパスワードの回復のために使用するためにどのプロシージャを判別します。

### [OS を判別して下さい](#)

VxWorks OS 実行:

- Aironet 340 シリーズ AP
- Aironet 350 シリーズ AP
- 別名 AP 1220 である Aironet 1200 シリーズ AP、

注: VxWorks のための GUI に黒およびレッドテキストが付いている黄色い帯域があります。Ciscoロゴはページの右上隅にあります。

Cisco IOS か。ソフトウェア OS 実行:

- Aironet 1100 シリーズ AP
- 別名 AP 1230 である Aironet 1200 シリーズ AP、
- Aironet 350 シリーズ AP

注: Cisco IOS ソフトウェアのための GUI は黒および青字のテキストと主にグリーンおよび灰色です。Ciscoロゴはページの左上のコーナーにあります。

VxWorks の下で AP 設定をリセットするプロシージャはバージョン 11.07 と変更しました。

AP ソフトウェアのすべてのバージョンではリカバリを行うために、AP に最初に接続して下さい。それからユニットをリセットするためにステップを実行して下さい。

## [AP に接続して下さい](#)

AP に接続するためにこのセクションのステップを完了して下さい。

注: AP 1100 にコンソールポートがありません、従ってこれらの手順は適用しません。Telnet かブラウザ アクセスを得ることができない場合工場出荷時状態にユニットをリセットし、完全にユニットを再度再構成して下さい。

注: コンソールポートがある AP の場合、パスワードの回復をするためにコンソールポートを使用できます。コンソールポートに接続するのにコンソールケーブルを使用して下さい。他のケーブルは、ストレート型のようなコンソールポートで、機能しません。

1. AP の RS-232 ポートにコンピュータの COM 1 または COM 2 ポートを接続するために 9 ピンメス型コネクタに 9 ピンオス型とストレートケーブルを使用して下さい。1200 シリーズ AP モデルで、コンソールポートは RJ 45 コネクタであり、Cisco ルータおよびスイッチのために使用する同じコンソールケーブルを使用できます。詳細については、[コンソールおよび AUX ポートのためのケーブリングガイド](#)を参照して下さい。
2. コンピュータのターミナルエミュレーションプログラムを起動して下さい。注: これらの手順は Microsoft HyperTerminal を記述します。他のプログラムは類似したです。
3. Connection Description ウィンドウで名前を入力して下さい。
4. 接続のアイコンを選択して下さい。
5. [OK] をクリックします。
6. Connect To ウィンドウでは、ケーブルが接続されるポートを選択するためにプルダウンメニューを使用して接続応答を使用して下さい。
7. [OK] をクリックします。
8. Port Settings ウィンドウでは、これらの選択をして下さい: ビット/秒 (ボー) : 9600 データビット : 8 パリティ : なし ストップ ビット : 1 フロー制御 : なし
9. [OK] をクリックします。
10. Enter を押します。

## [リセットして下さい AP — VxWorks バージョン 11.07 より早い](#)

AP を設定することを可能にするパスワードを忘れていれば工場出荷時状態に全体の設定をリセットして下さい。AP 設定をリセットし、新しいパスワードを割り当てるためにこれらのステッ

プを使用して下さい。

AP 設定をリセットするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. 電力がオンになっているとき、Reset ボタンを押し、保持して下さい。
2. 電力のプラグを抜き、5 -10 秒のための Reset ボタンを保持し続けて下さい。
3. ボタン リセットされて保持し続けるように電源のプラグを差し込んで下さい。
4. Reset ボタンをリリースして下さい。

このプロシージャは AP およびブリッジのほとんどすべてのモデルに適用されます。

**注:** これらのステップはパスワードを回復。 これらのステップを完了するとき、工場出荷時状態に現在のコンフィギュレーションおよび帰り AP 設定を削除します。 また AP が機能しないインストール キーを維持します。

## ブート ブロック バージョンの確認

AP をリセットするのに使用するステップは AP のブートブロックのバージョンによって異なります。 調べるためにブートブロックバージョンが AP にであるこれらのステップを使用して下さい。 それから バージョン 1.01 または それ以前か バージョン 1.02 または それ以降のために適切な指示を使用して下さい。

Summary Status 画面が現われるとき、AP をリブートして下さい。 リブートするために、それからプラグを抜き、電源コネクタの再接続するか、または CTRL-X を押すことができます。

AP がリブートすると、システムの紹介情報が表示されます。 ブート ブロック バージョンは、このテキストの 3 行目に表示され、「Bootstrap Ver」というラベルが付いています。 ブートブロックバージョンが 1.01 である場合、このように序テキストな:

```
System ID: 00409625854D
Motherboard: MPC860 50MHz, 2048KB FLASH, 16384KB DRAM, Revision 20
Bootstrap Ver. 1.01: FLASH, CRC 4143E410 (OK)
Initialization: OK
```

## ブートブロックバージョン 1.01 のためにまたはより早いリセットして下さい

AP のブートブロックバージョンがバージョン 1.01 または それ以前である場合 AP をリセットするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. AP に接続して下さい。
2. [OK] をクリックします。
3. Enter を押します。
4. Summary Status 画面が現われるとき、AP をリブートして下さい。 リブートするために、それからプラグを抜き、電源コネクタの再接続するか、または CTRL-X を押すことができます。 Summary Status 画面の例はここにあります

:

```
BR350-5d9a2c      [Cisco 350 Series Bridge 12.00T]      Uptime: 00:13:09

Associations
  [Clnts: 0] of 0   [Rptrs: 0] of 0   [Brdgs: 0] of 1   [APs]: 1

Events
  Time          Severity          Description
  00:02:25 (Info): Successfully configured DHCP Parameters
  00:01:08 (Warning): No DHCP OFFER's received, restarting the negotiation in the
  background

Network Ports
  Device          Status          Mb/s          IP Addr.          MAC Addr.
  [Ethernet]      Up              100.0         192.168.1.102    0040965d9a2c
  [Rt Radio]      Up              11.0          192.168.1.102    0040965d9a2c

[Auto Apply On] :Bottom, :Down, ^R, =, <ENTER>, or [Link Text]: _
```

5. このメッセージが現れるとき **ESC** を押して下さい:

Type <esc> within 5 seconds for menu

6. APのDRAMにAPのインストールキーをコピーするためにこれらのステップを完了して下さい: ファイルを『Copy』を選択するために **C** を押して下さい。DRAMを選択するために『1』を押して下さい。APのインストールキーのための選択文字を押して下さい。注: コンフィギュレーションファイルのリストがファイル VAR インストール キーが含まれている場合、インストール キーと共に DRAM にそのファイルをコピーして下さい。VAR インストール キーを DRAM にコピーするために、ファイルを『Copy』を選択するために **C** を押し DRAM を選択するために『1』を押し VAR インストール キーのための選択文字を押して下さい。
7. AP 設定 メモリをフォーマットし直すためにこれらのステップを完了して下さい: 形式メモリバンクを選択するために **SHIFT-1** を押して下さい。構成を選択するために『2』を押して下さい。Format コマンドを確認するために **SHIFT-Y** を押して下さい。
8. 設定 メモリにインストール キーをコピーし直すためにこれらのステップを完了して下さい: ファイルを『Copy』を選択するために **C** を押して下さい。構成を選択するために『2』を押して下さい。APのインストールキーのための選択文字を押して下さい。
9. APファームウェアを実行するために、『Run』を選択するために **R** を押して下さい。表示するファームウェアファイルに文字を選択して下さい。APがファームウェアを開始する間、このメッセージが現れます:  
Inflating firmware file name
10. Express Setup 画面が現れるとき、ターミナル エミュレータまたはインターネット ブラウザの AP を再構成し始めて下さい。

## [ブートブロックバージョン 1.02 が以降のためにリセットして下さい](#)

AP のブートブロックバージョンがバージョン 1.02 または それ 以降である場合 AP をリセットするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. AP に接続して下さい。
2. [OK] をクリックします。
3. Enter を押します。
4. Summary Status 画面が現れるとき、AP をリブートして下さい。リブートするために、それからプラグを抜き、電源コネクタの再接続するか、または **CTRL-X** を押すことができます。Summary Status 画面の例はここにあります

:

```

BR350-5d9a2c      [Cisco 350 Series Bridge 12.00T]      Uptime: 00:13:09

Associations
  [Clnts: 0] of 0  [Rptrs: 0] of 0  [Brdgs: 0] of 1  [APs]: 1

Events
  Time          Severity          Description
  00:02:25 (Info): Successfully configured DHCP Parameters
  00:01:08 (Warning): No DHCP OFFER's received, restarting the negotiation in the
background

Network Ports
  Device          Status          Mb/s          IP Addr.          MAC Addr.
[Ethernet]        Up              100.0         192.168.1.102     0040965d9a2c
[Rt Radio]        Up              11.0          192.168.1.102     0040965d9a2c

===[Diagnostics]===
(Auto Apply On) :Bottom, :Down, ^R, =, <ENTER>, or [Link Text]: _

```

5. メモリ ファイルが見出しメモリの下でリストされている時: ファイルは、ブート ブロック メニューに達するために 5 秒以内に **CTRL-W** を押します。
6. APのDRAM に APのインストールキーをコピーするためにこれらのステップを完了して下さい: ファイルを『Copy』 を選択 するために **C** を押して下さい。DRAM を選択するために 『1』 を押して下さい。APのインストールキーのための選択文字を押して下さい。注: コンフ イギュレーション ファイルのリストがファイル VAR インストール キーが含まれている場合 、インストール キーと共に DRAM にそのファイルをコピーして下さい。VAR インストール キーを DRAM にコピーするために、ファイルを『Copy』 を選択 するために **C** を押し DRAM を選択するために 『1』 を押し VAR インストール キーのための選択文字を押して下さい。
7. AP 設定 メモリをフォーマットし直すためにこれらのステップを完了して下さい:**CTRL-Z** を押し、押して下さい! 形式メモリ バンクを利用可能なオプションから選択するため。構成を 選択するために 『2』 を押して下さい。Format コマンドを確認するために 『Y』 を押して下さい。
8. 設定 メモリにインストール キーをコピーし直すためにこれらのステップを完了して下さい :ファイルを『Copy』 を選択 するために **C** を押して下さい。構成を選択するために 『2』 を押して下さい。APのインストールキーのための選択文字を押して下さい。
9. APファームウェアを実行するために、『Run』 を選択 するために **R** を押して下さい。表示 するファームウェア ファイルに文字を選択して下さい。AP がファームウェアを開始する間 、このメッセージが現れます:  
Inflating firmware file name
10. Express Setup 画面が現われるとき、ターミナル エミュレータまたはインターネット ブラ ウザの AP を再構成し始めて下さい。

## [リセットして下さい AP — VxWorks バージョン 11.07 または それ 以降](#)

バージョン 11.07 および それ 以降の AP をリセットするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. AP に接続して下さい。
2. Summary Status 画面が現われるとき、AP をリブートして下さい。リブートするために、それからプラグを抜き、電源コネクタの再接続するか、または **CTRL-X** を押すことができます。Summary Status 画面の例はここにあります  
:

```

BR350-5d9a2c      [Cisco 350 Series Bridge 12.00T]      Uptime: 00:13:09

Associations
  [Clnts: 0] of 0  [Rptrs: 0] of 0  [Brdgs: 0] of 1  [APs]: 1

Events
  Time          Severity          Description
  00:02:25 (Info): Successfully configured DHCP Parameters
  00:01:08 (Warning): No DHCP OFFER's received, restarting the negotiation in the
background

Network Ports
  Device          Status      Mb/s      IP Addr.      MAC Addr.
  [Ethernet]      Up          100.0     192.168.1.102  0040965d9a2c
  [Rt Radio]      Up          11.0      192.168.1.102  0040965d9a2c

===[Diagnostics]===
(Auto Apply On) :Bottom, :Down, ^R, =, <ENTER>, or [Link Text]: _

```

3. AP リブートおよび Summary Status 画面が再現するとき、発行して下さい: **resetall** コマンド。注: ユーザが必要ログインなしで読み取り専用方法でブラウズすることを許可しない場合 Summary Status 画面を見ません。その代り、ユーザ名 および パスワードのためにプロンプト表示されます。ユーザ名 および パスワードを入力して下さい。それからこのプロンプトが表示されます:

Authentication Failed - Retry? (y/n)

注: 質問への返事 n。発行現在できます: **resetall** コマンド。ユーザを許可しないために読み取り専用方法で参照することを許可するか、またはユーザマネージャを設定するのに使用して下さい

BR350-5d9a2c User Manager Setup - Microsoft Internet Explorer provided by Cisco Systems, Inc.

File Edit View Favorites Tools Help

Back Forward Stop Home Search Favorites Media Print

Address http://192.168.1.103/SetUserManager.shm?RefererList=http://192.168.1.103/SetSecurity.shm|http://192.168.1.103

**BR350-5d9a2c User Manager Setup**

Cisco 350 Series Bridge 12.00T

Map Help

CISCO SYSTEMS  
Uptime: 02:11:49

User Manager:  Enabled  Disabled

Allow Read-Only Browsing without Login?  yes  no

Protect Legal Credit Page?  yes  no

Apply OK Cancel Restore Defaults

[Map][Login][Help]

Cisco 350 Series Bridge 12.00T © Copyright 2002 Cisco Systems, Inc. credits

この時点で正常に発行しなかったら: **resetall** コマンドは最終的な解決策として、[ブートブロックバージョン 1.02](#) または [この資料の以下のセクションのためのリセット](#) のステップを完了します。

4. Enter を押します。
5. 発行した後: **resetall** コマンドは、はい入ります。注: 先のバージョンではより 12.01、: **resetall** コマンドは 2 分だけの間有効、直後に AP リブートです。発行しないし、確認すれば: 2 分内の **resetall** コマンドは、AP を再度リブートします。バージョン 12.01 を使って: **resetall** コマンドは 4 分の間有効です。
6. コマンドを確認するために『Enter』を押して下さい。
7. Express Setup 画面が現われるとき、ターミナル エミュレータまたはインターネット ブラウザの AP を再構成し始めて下さい。

## リセットして下さい AP — Cisco IOS ソフトウェア

Cisco IOS ソフトウェアベースの AP をリセットするためにこのセクションのステップを完了して下さい。

注: Cisco IOS ソフトウェアベースの AP にユーザ名 および パスワード 組み合わせを含むデフォルト 設定があります。ユーザ名 および パスワードは両方とも大文字/小文字の区別がある「Cisco」です。工場出荷時状態にリセットした後、GUI か Command Line Interface ( CLI ) によってプロンプト表示されるとき両方として「Cisco」にユーザ名 および パスワードを与えるために準備されて下さい。

特権コマンド プロンプト `ap#` CLI で利用できる場合、**write erase** コマンドおよび **reload** コマンドはスタートアップ コンフィギュレーションを消し、ユニットをリセットします。

GUI が利用できる場合、System Software > System Configuration の順に選択して下さい。**Defaults** ボタンにリセットするために押して下さい。

GUI も CLI も十分な特権と利用できない場合、Mode ボタンを使用するためにこれらの指示を完了して下さい:

1. AP から電源を切り離して下さい。外部力のための電源ジャッキがインライン電源用のイーサネット ケーブルを切して下さい。
2. AP に電力を再接続する間、**Mode ボタン**を押し、保持して下さい。
3. ステータス LED が橙色に変わる保持し、次にボタンをリリースして下さいまで **Mode ボタン**を。ステータス LED はおよそ 1 から 2 秒の橙色に変わります。
4. AP がリブートした後、AP を再構成し、ウェブブラウザインターフェイス、Telnet インターフェイス、または Cisco IOS ソフトウェアコマンドを使用して下さい。注: AP は下記のものを含んでいるファクトリ デフォルト値で設定されます: IP アドレス、DHCP の IP アドレスを受け取るために設定されるデフォルトのユーザ名およびパスワード、「Cisco」

## リセットして下さい AP — Cisco IOS ソフトウェアを実行する AP 350

Cisco IOS ソフトウェアを実行する AP 350 をリセットするためにこのセクションのステップを完了して下さい。

注: Cisco IOS ソフトウェアベースの AP にユーザ名 および パスワード 組み合わせを含むデフォルト 設定があります。ユーザ名 および パスワードは両方とも大文字/小文字の区別がある「Cisco」です。工場出荷時状態にリセットした後、GUI か CLI によってプロンプト表示されるとき両方として「Cisco」にユーザ名 および パスワードを与えるために準備されて下さい。

特権コマンド プロンプト `ap#` CLI で利用できる場合、**write erase** コマンドおよび **reload** コマン

ドはスタートアップ コンフィギュレーションを消し、ユニットをリセットします。

GUI が利用できる場合、System Software > System Configuration の順に選択して下さい。  
Defaults ボタンにリセットするために押して下さい。

AP350 に工場出荷時状態に AP をリセットする Mode ボタンがありません。このように GUI か CLI が AP350 で十分な特権と利用できなかつたら、現在のコンフィギュレーションを削除し、CLI を使用して工場出荷時状態にすべてのアクセス ポイント設定を戻すためにこれらのステップを完了して下さい。

1. 電源を取除くことおよび電源を再投入することによってアクセス ポイントをリブートして下さい。コマンド プロンプトが現われ、アクセス ポイントがイメージを膨脹させ始めるまでアクセス ポイントを起動します割り当てして下さい。CLI のこれらの行を見ると、ESC を押して下さい: : /<image name>...

```
#####  
#####  
#####  
#####
```

2. ESC を押せば、この情報は CLI 画面に表示されます。

```
Xmodem file system is available.  
flashfs[0]: filesystem check interrupted!
```

```
The system has been interrupted, or encountered an error  
during initialization of the flash filesystem. The following  
commands will initialize the flash filesystem, and finish  
loading the operating system software:
```

```
flash_init  
ether_init  
tftp_init  
boot
```

```
ap:
```

3. ap: プロンプトは、flash\_init コマンドを発行します。

```
ap: flash_init  
Initializing Flash...  
flashfs[0]: 142 files, 6 directories  
flashfs[0]: 0 orphaned files, 0 orphaned directories  
flashfs[0]: Total bytes: 7612416  
flashfs[0]: Bytes used: 3407360  
flashfs[0]: Bytes available: 4205056  
flashfs[0]: flashfs fsck took 0 seconds.  
...done initializing Flash.
```

4. dir flash: フラッシュするの内容を表示するために見つけます config.txt コンフィギュレーション ファイルを命じて下さい。

```
ap: dir flash:  
Directory of flash:/  
  
3   -rwx  223      <date>          env_vars  
4   -rwx  2190    <date>          config.txt  
5   -rwx   27     <date>          private-config  
150 drwx  320     <date>          c350-k9w7-mx.122-13.JA
```

```
4207616 bytes available (3404800 bytes used)
```

5. config.old に config.txt ファイルの名前を変更して下さい。

```
ap: rename flash:config.txt flash:config.old
```

## 6. 350 をリポートするために reset コマンドを発行して下さい。

```
ap: reset
```

```
Are you sure you want to reset the system (y/n)?y
```

```
System resetting..Xmodem file system is available.
```

```
flashfs[0]: 142 files, 6 directories  
flashfs[0]: 0 orphaned files, 0 orphaned directories  
flashfs[0]: Total bytes: 7612416  
flashfs[0]: Bytes used: 3407360  
flashfs[0]: Bytes available: 4205056  
flashfs[0]: flashfs fsck took 0 seconds.  
Reading cookie from flash parameter block...done.  
Base ethernet MAC Address: 00:40:96:41:e4:df
```

```
Loading "flash:/c350-k9w7-mx.122-13.JA/c350-k9w7-mx.122-13.JA"...#####
```

注: AP は下記のものを含んでいるファクトリ デフォルト値で設定されます:IP アドレス、DHCP の IP アドレスを受け取るために設定されるデフォルトのユーザ名およびパスワード、「Cisco」

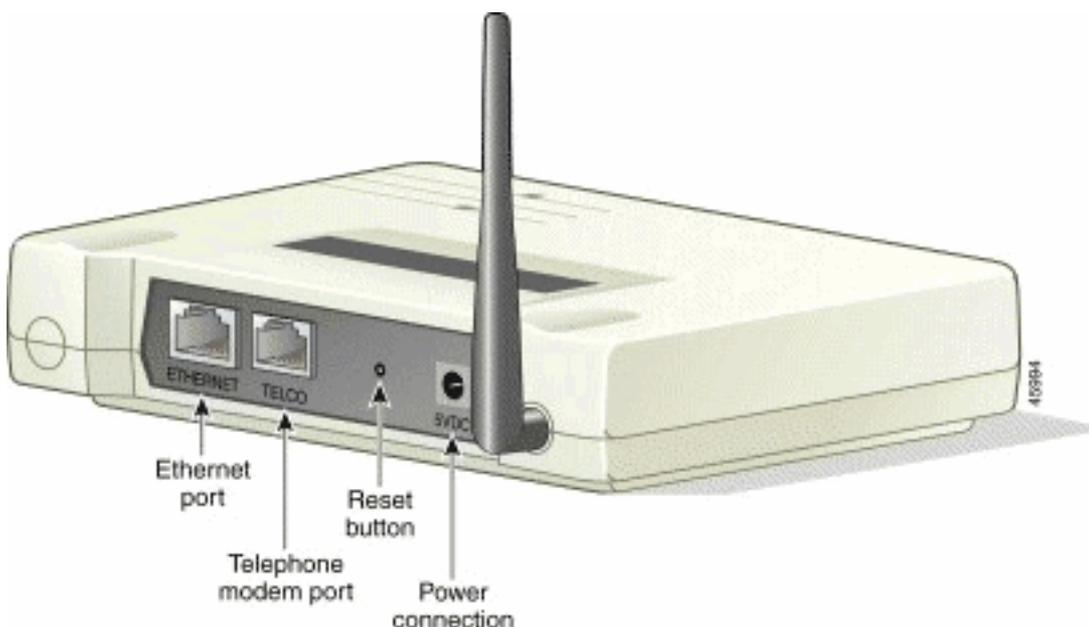
## 7. 完全な Cisco IOS ソフトウェアがロードされ、接続が再確立される後、フラッシュするから config.old ファイルを削除して下さい。del フラッシュするを発行して下さい: CLI からのイネーブルになったプロンプトの config.old Cisco IOSソフトウェアコマンド。

```
ap#del flash:config.old  
Delete filename [config.old]  
Delete flash:config.old [confirm]  
ap#
```

## ベースステーション

### Reset ボタンとのデフォルトを設定して下さい

Reset ボタンはベースステーションの Back パネルの小さいホールにあります。デフォルト値にベースステーションの設定パラメータをリセットするのにボタンを使用します。



Reset ボタンをアクティブにするために、まっすぐにされたペーパー クリップを小さいホールに挿入し、すべての LED が点灯するまでボタンを押して下さい。ペーパー クリップを取除いて下

さい。ステータス LED はベースステーションにこれらのデフォルトのパラメータ値があることを示すために橙色を点滅させます:

```
ap#del flash:config.old
Delete filename [config.old]
Delete flash:config.old [confirm]
ap#
```

ワイヤレス PC を使用するとき目的の値にベースステーションの設定パラメータを設定する方法に関する説明については[ベースステーションの設定を参照](#)して下さい。

## クライアント アダプタ

クライアントアダプタのためのパスワードがないが、適切な操作のために重要な他のパラメータがあります。次のパラメータがあります。

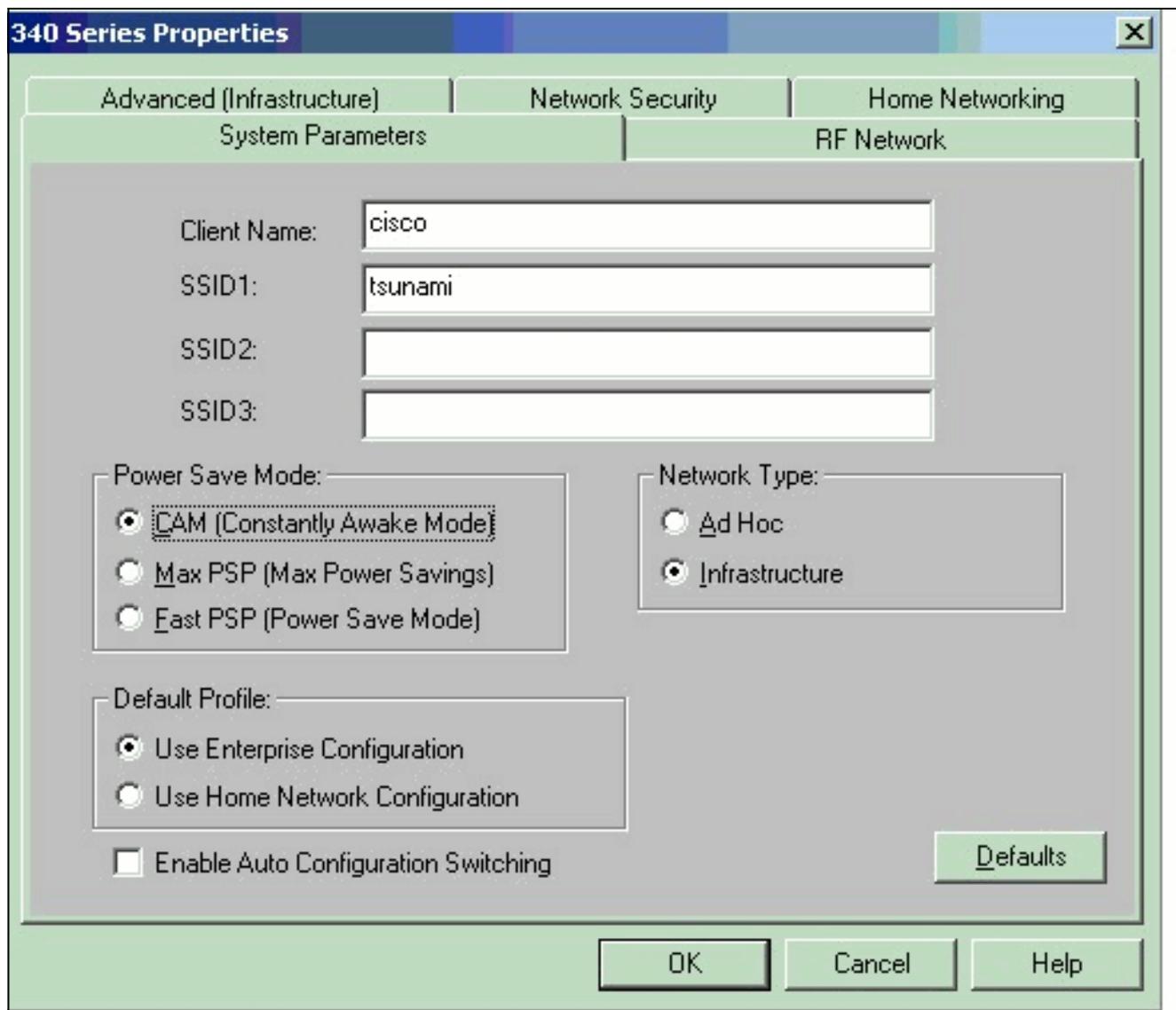
- [サービス セット ID \( SSID \)](#)
- [クライアント暗号化マネージャ \( CEM \) パスワード](#)
- [Wired Equivalent Privacy \( WEP \) キー](#)

これらのパラメータをリセットする必要があることが分ったらこのセクションの手順を完了して下さい。

### SSID

同じようにリセット最初に設定されたかどれかを SSID をできます。これらのステップと Aironet Client Utility ( ACU ) を使用して下さい:

1. **Commands メニュー** をクリックして下さい。
2. 『Edit properties』 を選択して下さい。
3. System Parameters タブの下で、SSID の正しい値を入力して下さい。正しい SSID を得るためにネットワーク管理者とチェックして下さい。
4. コンフィギュレーション変更を保存するために 『OK』 をクリックして下さい。



## デフォルトを設定して下さい

クライアントアダプタをデフォルトに設定するために、**System Parameters** タブをクリックして下さい。パネルの右下隅で、『Defaults』をクリックして下さい。

## CEM パスワード

CEM はクライアント暗号化マネージャを意味します。この CEM を使うと、クライアントアダプタの現在の静的 WEP キー設定を表示し、新しい静的 WEP キーを入力し、WEP を有効にするか、または既存の静的 WEP キーを上書きできます。CEM を使用方法の情報に関しては [CEM](#) を参照して下さい。

割り当て WEP キーの付加か修正 CEM を実行することをパスワードが必要とします。このパスワードを失うか、または忘れている場合、デフォルトパスワード「Cisco」を試みて下さい。CEM の以前のバージョンで、デフォルトパスワード「Aironet」を試みて下さい。デフォルトパスワードがはたらかない場合、CEM ユーティリティを再インストールして下さい。

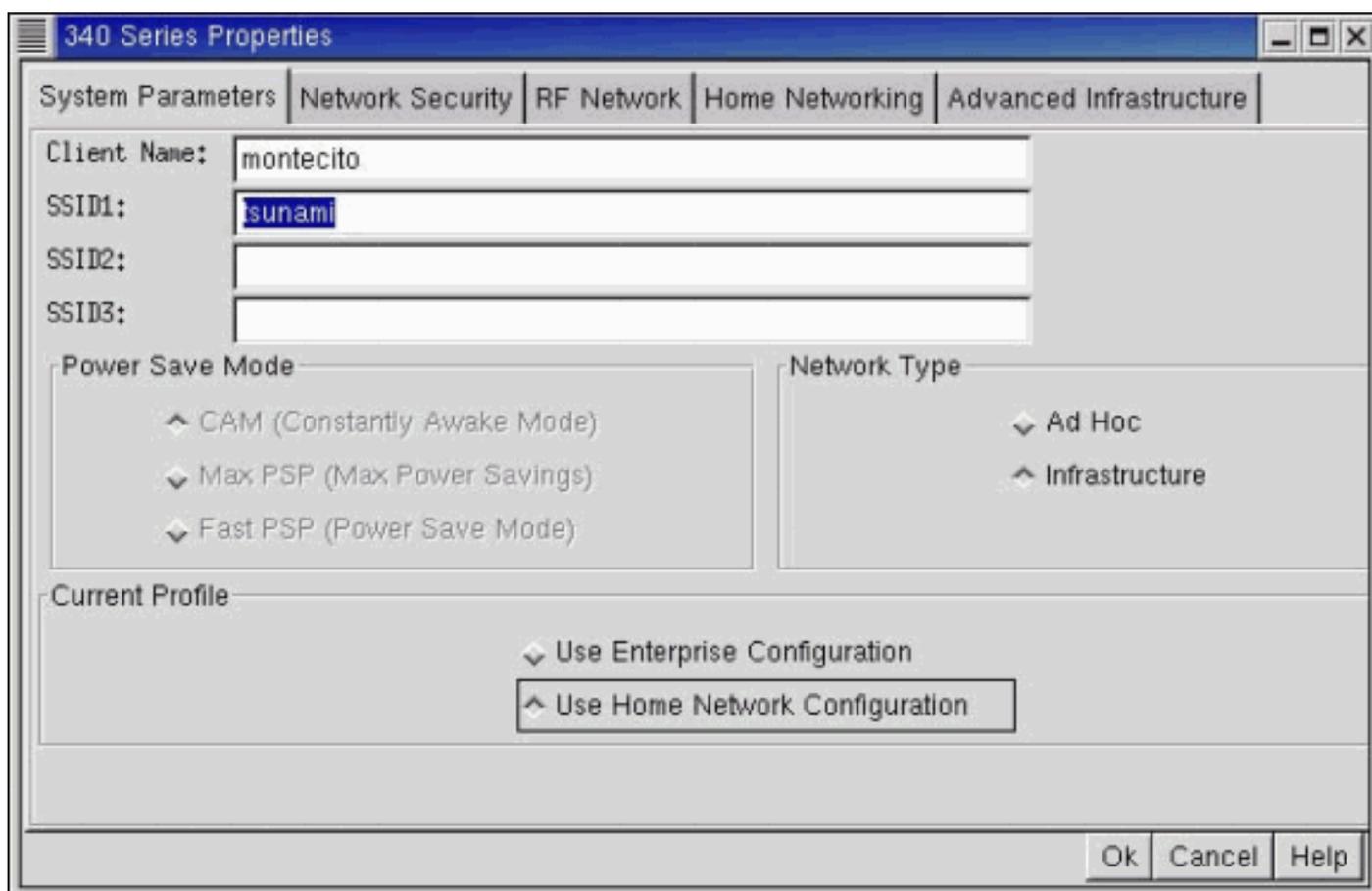
## Windows システム

Microsoft Windows システムでユーティリティをインストールする指示に関してはこれらの文書を参照して下さい:

- [Cisco Aironet 340/350 シリーズ クライアントアダプタのための Windows 95 ドライバおよびユーティリティのインストール手順](#)
- [Cisco Aironet 340/350 シリーズ クライアントアダプタのための Windows 2000 ドライバおよびユーティリティのインストール手順](#)
- [Windows のための Cisco Aironet 340、350、および CB20A Wireless LAN クライアントアダプタ インストールおよびコンフィギュレーション ガイド、OL-1394-06](#)

## [Linux システム](#)

Linux システムでユーティリティをインストールする手順に関しては [Linux のための Cisco Aironet Wireless LAN アダプタ インストールおよびコンフィギュレーション ガイド](#)を参照して下さい。



注: CEM機能は Linux ドライバ/ユーティリティ パッケージのバージョン 1.5.000 を実行するコンピュータの ACU に含まれています。このバージョンを実行する場合、CEM機能を回復するために ACU を再インストールして下さい。

## [WEPキー](#)

WEPキーが最初に設定される時、クライアントアダプタカードで NVRAM に書かれています。キーを表示するか、または消すことができません新しいキーによってそれらを上書きできます。

WEPキーを再入力する必要がある場合無線ネットワークに接続するために使用するよう正しいキーに関してはネットワーク管理者に連絡して下さい。

WEPキーを設定する方法に関する説明に関しては [Wired Equivalent Privacy \( WEP \) の設定](#)を参照して下さい。

## Aironet 1410 シリーズブリッジ

Cisco IOS ソフトウェアベースのブリッジをリセットするためにこのセクションのステップを完了して下さい。

注: Cisco IOS ソフトウェアベースの AP にユーザ名 および パスワード 組み合わせを含むデフォルト設定があります。ユーザ名 および パスワードは両方とも大文字/小文字の区別がある「Cisco」です。工場出荷時状態にリセットした後、GUI か CLI によってプロンプト表示されるとき両方として「Cisco」にユーザ名 および パスワードを与えるために準備されて下さい。

特権コマンドプロンプト `ap#` CLI で利用できる場合、**write erase** コマンドおよび **reload** コマンドはスタートアップ コンフィギュレーションを消し、ユニットをリセットします。

GUI が利用できる場合、System Software > System Configuration の順に選択して下さい。**Defaults** ボタンにリセットするために押して下さい。

GUI も CLI も十分な特権と利用できない場合、Mode ボタンを使用するためにこれらの指示を完了して下さい:

1. ブリッジ電源注入器から電源を切り離して下さい。外部力のための電源ジャッキを切して下さい。
2. ブリッジ電力注入器に電力を再接続する間、**Mode ボタン**を押し、保持して下さい。
3. ステータス LED が橙色に変わる保持し、次にボタンをリリースして下さいまで **Mode ボタン**を。ステータス LED はおよそ 1 から 2 秒の橙色に変わります。
4. ブリッジ リブートが、ウェブブラウザインターフェイス、Telnetインターフェイス、または Cisco IOSソフトウェアコマンドでブリッジを再構成した後。注: AP は下記のものを含んでいるファクトリ デフォルト値で設定されます:IP アドレス、DHCP の IP アドレスを受け取るために設定される。DHCP サーバがない場合、HTTP/HTTPS を使用して 10.0.0.1 のデフォルト IP アドレスを使用してブリッジにアクセスするか、または Telnet で接続することができます。Telnet か GUI によってブリッジへのアクセス権を得れば、ブリッジの IP アドレスを修正できます。注: 10.0.0.1 のこのデフォルト IP アドレスは短期間の間だけ利用可能になります。このようにその一定期間内のブリッジにあなた自身の IP アドレスを割り当てることを、確かめて下さい。デフォルトのユーザ名およびパスワード、「Cisco」

## Aironet 1310 シリーズブリッジ

Cisco IOS ソフトウェアベースのブリッジをリセットするためにこのセクションのステップを完了して下さい:

注: Cisco IOS ソフトウェアベースの AP にユーザ名 および パスワード 組み合わせを含むデフォルト設定があります。ユーザ名 および パスワードは両方とも大文字/小文字の区別がある「Cisco」です。工場出荷時状態にリセットした後、GUI か CLI によってプロンプト表示されるとき両方として「Cisco」にユーザ名 および パスワードを与えるために準備されて下さい。

特権コマンドプロンプト `ap#` CLI で利用できる場合、**write erase** コマンドおよび **reload** コマンドはスタートアップ コンフィギュレーションを消し、ユニットをリセットします。

GUI が利用できる場合、System Software > System Configuration の順に選択して下さい。**Defaults** ボタンにリセットするために押して下さい。

Aironet 1300 シリーズ ブリッジは工場出荷時状態に AP をリセットする Mode ボタンを備えていません。このように GUI か CLI が十分な特権と利用できなかったら、現在のコンフィギュレーションを削除し、CLI を使用して工場出荷時状態に全体のブリッジ設定を戻すためにこれらのステップを完了して下さい。

1. ブリッジコンソール ポートへの Telnetセッションまたは接続との CLI を開いて下さい。
2. 取除き、再適用電源によってブリッジをリブートして下さい。
3. コマンドプロンプトが現われ、ブリッジがイメージを膨脹させ始めるまでブリッジが起動するようにして下さい。CLI でこれらに類似したである行を見るとき **ESC** を押して下さい:

```
ap#del flash:config.old
Delete filename [config.old]
Delete flash:config.old [confirm]
ap#
```

**注:** ブート ロードにアクセスするために、**ESC** を二度押して下さい。しかしこの操作は使用するターミナル エミュレーションのソフトウェアによって決まります。これらに類似したであるメッセージが現れます:

```
ap#del flash:config.old
Delete filename [config.old]
Delete flash:config.old [confirm]
ap#
```

4. : プロンプトは、**dir flash** を発行します: フラッシュ ファイル システムのディレクトリを表示するために命じて下さい。ディレクトリはこのディレクトリに類似したです:

```
ap#del flash:config.old
Delete filename [config.old]
Delete flash:config.old [confirm]
ap#
```

5. 削除するか、またはファイル config.txt および env\_vars を名前を変更し、ブリッジをリブートして下さい。**注:** ファイル名の前に/文字を忘れないで下さい。

```
ap#del flash:config.old
Delete filename [config.old]
Delete flash:config.old [confirm]
ap#
```

6. でブリッジをリブートするために **boot** コマンドを発行して下さい: 、または単に電源の再投入ブリッジプロンプト表示して下さい。

7. ブリッジリブートが、ウェブブラウザインターフェイス、Telnetインターフェイス、またはCisco IOSソフトウェアコマンドでブリッジを再構成した後。**注:** ブリッジは下記のものを含んでいるファクトリ デフォルト値で設定されます:IP アドレス、DHCP の IP アドレスを受け取るために設定される。DHCP サーバがない場合、HTTP/HTTPS を使用して 10.0.0.1 のデフォルト IP アドレスを使用してブリッジにアクセスするか、または Telnet で接続することができます。Telnet が GUI によってブリッジへのアクセス権を得れば、ブリッジの IP アドレスを修正できます。**注:** 10.0.0.1 のこのデフォルト IP アドレスは短期間の間だけ利用可能になります。このようにその一定期間内のブリッジにあなた自身の IP アドレスを割り当てることを、確かめて下さい。デフォルトのユーザ名およびパスワード、「Cisco」。

## [Aironet 350 シリーズ ブリッジ](#)

### [ソフトウェア バージョン 11.xx に関してはか以降](#)

コンソールポートを通して 350 ブリッジを設定することを可能にするパスワードを忘れていれば完全に設定をリセットして下さい。現在のコンフィギュレーションを削除し、工場出荷時状態にすべての設定を戻すためにこれらのステップを完了して下さい:

- ブリッジの RS-232 ポートにコンピュータの COM 1 または COM 2 ポートを接続するために 9 ピン メス型コネクタに 9 ピン オス型とストレート ケーブルを使用して下さい。詳細については、[コンソール および AUX ポートのためのケーブルリング ガイド](#)を参照して下さい。
- コンピュータのターミナルエミュレーションプログラムを起動して下さい。注: これらの手順は HyperTerminal を記述します。他のプログラムは類似したです。
- Connection Description ウィンドウで名前を入力して下さい。
- 接続のアイコンを選択して下さい。
- [OK] をクリックします。
- Connect To ウィンドウでは、ケーブルが接続されるポートを選択するためにプルダウン メニューを使用して接続応答を使用して下さい。
- [OK] をクリックします。
- Port Settings ウィンドウでは、これらの選択をして下さい: ビット/秒 (ボー) : 9600 データビット : 8 パリティ : なし ストップ ビット : 1 フロー制御 : なし
- [OK] をクリックします。
- Enter を押します。
- Main Menu 画面が現われるとき、ブリッジをリブートして下さい。次にユニットをおよび回して下さい。
- ブリッジ リブートおよび Summary Status 画面が再現するとき、発行して下さい: **resetall** コマンド。注: **resetall** コマンドは 2 分だけの間有効、直後にブリッジ リブートです。発行しないし、確認すれば: 2 分内の **resetall** コマンドは、ブリッジを再度リブートします。
- Enter を押します。
- はい入力して下さい。
- コマンドを確認するために『Enter』を押して下さい。
- ブリッジ リブートおよび Express Setup 画面が現われた後、ターミナル エミュレータまたはインターネット ブラウザのブリッジを再構成して下さい。

```

BR350-4060be                               Express Setup                               Uptime: 00:01:21

System [Name                               ] [BR350-4060be                               ]
[Terminal Type                             ] [teletype                                   ]
MAC Address                               : 00:40:96:40:60:be
Config. Server [Protocol                   ] [DHCP                                       ]
IP [Address                                 ] [10.0.0.1                                   ]
IP [Subnet Mask                            ] [255.255.255.0                             ]
Default [Gateway                           ] [255.255.255.255                           ]

[Radio Service Set ID (SSID)] [tsunami                                   ]
[Role in Radio Network             ] [Root Bridge                               ]
[Optimize Radio Network For ] [Throughput] [Hw Radio]
Ensure Compatibility With: [2Mb/sec Clients] [_] [non-Aironet 802.11] [_]

[SNMP Admin. Community           ] [                                           ]

[Apply] [OK] [Cancel] [Restore Defaults]

[Home] - [Network] - [Associations] - [Setup] - [Logs] - [Help]
[END]

(Auto Apply On) ^R, =, <ENTER>, or [Link Text]: _

```

## [Aironet 340 シリーズ ブリッジ](#)

[ソフトウェア バージョン 8.65 か以降に関しては](#)

コンソールポートを通して 340 ブリッジを設定することを可能にするパスワードを忘れていれば完全に設定をリセットして下さい。現在のコンフィギュレーションを削除し、工場出荷時状態にすべての設定を戻すためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ブリッジの RS-232 ポートにコンピュータの COM 1 または COM 2 ポートを接続するために 9 ピン メス型コネクタに 9 ピン オス型とストレート ケーブルを使用して下さい。詳細については、[コンソール および AUX ポートのためのケーブルリング ガイド](#)を参照して下さい。
2. コンピュータのターミナルエミュレーションプログラムを起動して下さい。注: これらの手順は HyperTerminal を記述します。他のプログラムは類似したです。
3. Connection Description ウィンドウで名前を入力して下さい。
4. 接続のアイコンを選択して下さい。
5. [OK] をクリックします。
6. Connect To ウィンドウでは、ケーブルが接続されるポートを選択するためにプルダウンメニューを使用して接続応答を使用して下さい。
7. [OK] をクリックします。
8. Port Settings ウィンドウでは、これらの選択をして下さい:ビット/秒 (ボー) : 9600データビット : 8パリティ : なしストップビット : 1フロー制御 : なし
9. [OK] をクリックします。
10. Connection Description ウィンドウでは、名前を入力し、接続のアイコンを選択して下さい。
11. [OK] をクリックします。
12. Enter を押します。
13. Main Menu 画面が現われるとき、ブリッジをリブートして下さい。次にユニットをおよび回して下さい。
14. ブリッジ リブートおよび Main Menu 画面が再現するとき、『Reset』を選択するために 2つを入力して下さい。
15. Enter を押します。
16. はい入力して下さい。
17. コマンドを確認するために『Enter』を押して下さい。
18. ブリッジ リブートおよび Express Setup 画面が現われた後、ターミナル エミュレータまたはインターネット ブラウザのブリッジを再構成して下さい。

## [8.65 より早いソフトウェア バージョンに関しては](#)

Aironet 340 シリーズイーサネットブリッジのためのパスワードを失う場合、サービスのためのユニットを返して下さい。

注: 場合によっては、ブリッジは失われたパスワードとブリッジに接続するアクセス可能です。アクセス可能なブリッジがバージョン 8.65 またはそれ以降を実行し、失われたパスワードのブリッジをアップグレードするために **Distribute firmware** コマンドを使用することを確かめて下さい。[ソフトウェアバージョン 8.65とそれ以降のための](#)セクションの指示は Return Materials Authorization (RMA) の失われたダウンタイムなしに、適用します。

登録ユーザは Cisco テクニカル サポート [TAC Service Request Tool](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) の行のサービス リクエストを作成できます。すべてのユーザは E メールによって Cisco テクニカル サポートが [各国の連絡先](#)を通して電話に連絡できます。

## [ワークグループブリッジ](#)

Aironetワークグループブリッジ ( WGB ) は隔離された無線LAN セグメントの 8 つのホスト多数が AP に単一 無線接続を共有するようにします。これはネットワークの他の部分にアクセスするためにホストをイネーブルに設定します。

説明される手順リセット [ファクトリ デフォルト設定にワークグループブリッジをどのようにで設定し直すか](#)の何れかを使用して工場出荷時状態に WGB をできますか。

## [関連情報](#)

- [Cisco Aironet アクセス ポイント Cisco IOS Release 12.4\(10b\)JA および 12.3\(8\)JEC のための Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド](#)
- [Cisco Aironet ワークグループブリッジに関する FAQ](#)
- [セキュリティ機能を有効に すること](#)
- [Cisco Aironet アクセス ポイントに関する FAQ](#)
- [Cisco Aironet 1400 シリーズ Ciscoエアロネットイーサネット ブリッジおよび WGB FAQ](#)
- [ワイヤレス LAN コントローラ モジュール \( WLCM \) とワイヤレス サービス モジュール \( WiSM \) 用のパスワード回復手順](#)
- [ワイヤレス LAN コントローラ \( WLC \) に関する FAQ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ( [シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですか](#) )。

## Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2015 年 10 月 02 日

Document ID: 9215